

日语能力考试备战系列

N2 文字词汇习题集

[日] 桑山哲郎 编著

 上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS
www.sflep.com

日语能力考试备战系列

N2 文字词汇习题集

[日] 桑山哲郎 编著



上海外语教育出版社

外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

图书在版编目(CIP)数据

N2 文字词汇习题集/(日)桑山哲郎著. —上海:上海外语教育出版社,2011
(日本语能力考试备战系列)

ISBN 978-7-5446-2225-7

I. ①N… II. ①桑… III. ①日语—词汇—水平考试—习题 IV. ①H363—44

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2011) 第 027649 号

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 曹 艺

印 刷: 昆山市亭林彩印厂

开 本: 787×1092 1/16 印张 12.75 字数 296千字

版 次: 2011 年 7 月第 1 版 2011 年 7 月第 1 次印刷

印 数: 3 100 册

书 号: ISBN 978-7-5446-2225-7 / H · 1015

定 价: 23.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

前言

2010年7月起,新的日语能力考试开始实施,本书就是根据新N2级的文字词汇出题标准而编写的习题集,笔者希望广大的学习者通过使用本书,能够更加系统合理地掌握N2文字词汇知识。

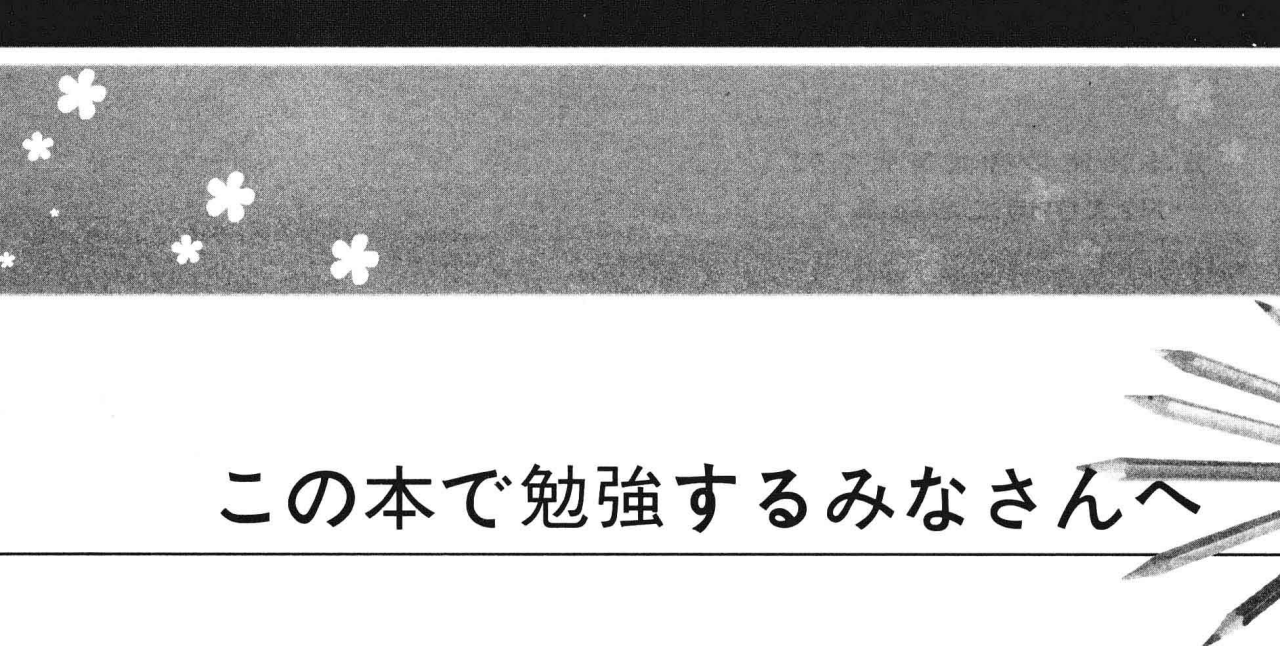
根据新出题标准,N2级考查的文字词汇内容包括汉字读法、上下文理解、同义词替换和词汇用法等,而在上下文理解中也涉及了复合词、派生词等词语构成上的知识,本书在开篇就对以上这些相关的知识进行了统括性的说明。

正文部分由七个单元组成,每单元主要针对不同的词性范畴对相关的知识进行概括和复习,也有介绍敬语知识以及惯用语、格言和谚语知识的内容。每单元分两部分,第一部分首先按照细致的分类,以填空题的形式对考点知识进行梳理,考生如果能够跟着本书的步骤将这些填空题做上一遍,就能对N2文字词汇部分的全部知识点进行一次整理和复习,从而起到温故知新、查漏补缺的作用。本部分以知识的整理为主,因此在做题的过程中可以查词典、找资料、看答案,也可以在课堂上老师的指导之下进行;第二部分则是按照能力考试N2文字词汇真题题型设计的大量练习,可供使用者了解和适应考试的题型,检验自己复习的效果,为参加考试做好准备工作。这部分练习最好独立完成,以检验和找出自己的薄弱环节,从而更好地进行有针对性的复习。两部分习题都附有答案。

笔者一直在中国从事日语教育工作,在多年和中国的日语学习者打交道的过程中,积累了一些中国人学习日语和参加日语能力考试的知识,希望能在新的能力考试实施之际,将这些知识与中国更广大范围内的日语学习者共同分享。由于笔者水平有限,谬误在所难免,敬请读者批评指正。

2011年春

桑山 哲郎



この本で勉強するみなさんへ

この本は、2010年7月から実施された新しい日本語能力試験N2をめざす人が、日本語の文字・語彙をより体系的に、そしてより合理的に学習できるように編集しました。

1. 新しいN2の文字・語彙出題基準(漢字読み、文脈規定、言い換え類義、用法)に基づいて練習問題をつくってあります。
2. 新しい日本語能力試験では、N2の試験に語形成(複合語、派生語など)の問題が出題されます。本書では、語彙の語形成(合成語の組み立て)について詳しく説明してあります。
3. 日本語の総語彙の中で字音語(漢語と和製漢語)がほぼ半分近くを占めます。本書では、中国漢字と日本漢字との発音の関係、漢語の類語の使い分け等について、より詳しくわかりやすく学習できるように問題をつくってあります。
4. 語彙の中で、動詞・名詞・形容詞は文をつくるうえでの基本的な成分であり、また、副詞も重要なはたらきをしています。品詞別に、それぞれの語彙の類語を意味分類し、典型的な用例をあげて問題をつくってあります。
5. 2010年文化庁答申の『敬語の指針』に基づいて、新しく敬語を分類してあります。基本的な問題をつくってあります。
6. 日本語にはオノマトベ(擬態語・擬声語)が豊富で表現を豊かにしています。日常生活でよく使う擬態語・擬声語の意味と用法を学んでください。
7. 身体名詞を使った慣用句やことわざ・格言なども、日本語の背景として重要です。併せて、学んでください。

2011年 春

桑山哲郎

目次

日本語の文字・語彙について

1. 日本語の文字・語彙	1
2. 日本語の漢字音と中国語の発音	2
3. 日本語の語彙の組み立て(語形成)	3
4. 語彙の意味について	8

ユニット1 動詞・名詞・外来語

1. 字音語と拼音字母との対照	9
2. 漢字の一部分が同じ音を表わす字音語	10
3. 漢字音が2種類ある音	11
4. 同音異義語の字音語	12
5. 漢語の類語	16
6. 和語動詞の同音異義語	20
7. 意味分類による和語動詞の類語	25
A. 手・腕・指先を中心とした動作	25
B. 足・羽を中心とした動作	26
C. 口の動作	26
D. 目の動作	27
E. 耳・鼻の動作	27
F. 身体の動作	28
G. 発言の動作	28

H. 思考・認識の動作	29
I. 感情・感覚の動作	30
J. 精神・好悪の動作	31
K. 移動・運動の動作	32
L. 破壊・変形の動作	35
M. 料理に関する動作	36
N. 自然に関する動作・現象	37
8. 和語名詞の同音異義語	38
9. 特別な読み方	41
練習問題	43

ユニット II い形容詞・な形容詞・連体詞

1. 形容詞の種類	89
2. 形容詞の派生語	89
3. 形容詞の意味	91
4. 連体詞の種類と用法	97
練習問題	99

ユニット III 副詞

1. 副詞の種類	121
2. 副詞の意味	122
A. 様態を表わす副詞 (1) AっBり型/AんBり型	122
(2) ABAB 型	123
(3) AAと/に型	123
(4) Aんと/Aっと型 その他	124
B. 程度・量を表わす副詞	124
C. テンス・アスペクトを表わす副詞	126
D. ムードを表わす副詞	128
E. 評価を表わす副詞	129
F. 発言・限定を表わす副詞	130
練習問題	131

ユニットⅣ 接続詞

練習問題	151
------------	-----

ユニットⅤ 敬語表現

A. 尊敬語	157
B. 謙譲語Ⅰ	159
C. 謙譲語Ⅱ	160
D. 丁寧語	161
E. 美化語	161
F. 敬語をめぐる問題	161
練習問題	163

ユニットⅥ 慣用句・ことわざ・格言

《身体名詞をつかった慣用句》	167
《格言(故事成語)》	169
《ことわざ》	169
練習問題	171

ユニットⅦ 擬態語・擬声語

練習問題	179
------------	-----

【解答】	181
------------	-----

日本語の文字・語彙について

1 日本語の文字・語彙

日本語にはもともと文字がありませんでした。日本で一番古い歴史書『古事記』(712年成立)『日本書紀』(720年成立)によりますと、4世紀末ごろ王仁という人が『論語』10巻と『千字文』1巻をたずさえ、日本にやってきて中国の書物を教えるようになった、とあります。古代の日本社会では、大和朝廷と帰化人の間で、漢字が使用されました。そのうち、帰化人たちは、周囲の日本人とつながりをもつようになり、日本語を学んでいきました。また、日本人の中からも漢字を勉強する人たちが増えていき、漢語(中国語)と日本語の接触が始まりました。最初は、単音節で1語となる漢字に日本語をあてて読んでいきました。日本語と漢語の対応を『万葉集』(日本最古の和歌集、8世紀末成立)の中からいくつか紹介しましょう。

あき→秋 あし→足 あめ→雨 かがみ→鏡 さくら→櫻 た→田 たつ→立、起

また、漢字によって日本語をあらわそうとする万葉仮名(漢字の形はそのままにし意味は無視して発音だけを利用する。例えば、多比→たび)が考えられ、さらに片仮名、平仮名が生み出されました。現代日本語の表記法は、漢字、片仮名、平仮名、ローマ字の4種類があり、およそ4千種類ぐらいある世界の言語の中で文字(表記法)が一番多い言語であるといえます。

日本語の語彙はやや複雑です。駱駝、胡麻、琵琶、煎餅などは、古い昔に中国語から外来語として入ってきました。

また、漢語に「す」をつけて、サ変動詞にしたものが平安時代にはもうすでに存在しました。

死す、対面す、用意す、講ず、臆す、制すなど

また、日本人が作った和製漢語もたくさんあります。古くは、見物、残念、安産、年始、暑中などがあります。比例、星座、熱帯、電気、血管、判断、意見、自由、住所、経済、革命、環境などの語彙は、明治時代に欧米の文化を取り入れる過程で欧米語の翻訳語として大量の和製漢語が作られました。

最近、カタカナ語つまり外来語が科学技術、スポーツ、音楽方面など専門分野ではどんどん増えています。おおまかにいいますと日本語の語彙体系は、次のようになります。

- ① 和語：純粋の日本語 約40% あるく、うつす、みみ、あし、さびしい、ちいさい
- ② 字音語：漢語と和製漢語 約45% 会社、経済、返事、計算、規則、出張、大根
- ③ 外来語：約10% タバコ、ガラス、テレビ、スマート、マウス、ジャズ、オペラ
- ④ 混種語：約5% 城下町、台所、朝ご飯、ペン先、赤ワイン、カラオケ

2 日本語の漢字音と中国語の発音

日本語(和語)はもともと開音節構造(a i u e oの母音で終わる)ですが、漢語が入って来て日本語の音節に変化がおきました。たとえば、[-ng]を長音、[-n]は[-ん]で終わり、[-p、-k、-t]などで終わる音は[-u、-i]の母音をつけて、日本語の音に変えていきました。

中国から漢字が伝わってきた時代は、ほぼ次の三回です。

- ① 呉音：三世紀から六世紀ごろ(南北朝時代)に、長江下流域地方(現在の江蘇省あたり、^呉呉といった)の古代呉語の系統の音が、朝鮮経由で入ってきました。仏教、医術関係の語に残っています。正直(ショウジキ、セイチョク)、明日(ミョウニチ、メイジツ)、小児科(ショウニカ、ショウジカ)、外科(ゲカ、ガイカ)、如来(ニョライ、ジョライ)、精進(ショウジン、セイシン)など。下線部が呉音です。そうでないのは漢音。
- ② 漢音：七世紀ごろ隋から唐中期にかけての時代、平安時代のはじめ、中国に渡った留学僧や中国からやってきた中国人によって伝えられました。言語(ゴンゴ、ゲンゴ)、快樂(ケラク、カイラク)、命(ミョウ、メイ)、京(キョウ、ケイ)など。下線部が漢音。そうでないのは呉音。ほとんどの漢字音は漢音です。
- ③ 唐音：十二世紀から十五世紀ごろ南宋、元、明の時代、鎌倉室町時代に禅僧によって伝えられました。仏教関係の語に残っていますが、非常に少ない。鈴(リン)、行燈(アンドン)、椅子の子(ス)など。

音読みとは、古い中国の漢字音を日本語風(日本語の音韻に則して)に発音した音であり、訓読みとは、その漢字の意味、解釈を和語つまり純粋日本語であらわしたものです。だから、漢字の音読みはある程度推測できます。おおざっぱに言って、次のようなことを知っておけば便利です。

- A 拼音文字(有気音か無気音かは問題としない)が同じであれば、同じ発音(清音か濁音かは問題としない)になる場合が多い。

堅(jian→ケン)、件(jian→ケン)、見(jian→ケン)、遣(qian→ケン)

B -n 音→-ンでおわる

浅(qian→ヤン)、根(gen→コン)、編(bian→ヘン)、看(kan→カン)

C -ng 音→-イ、または-ウでおわり長音。

康(kang→コウ)、党(tang→トウ)、迎(ying→ゲイ)

D j,q,xではじまる漢字音は→g-、k-音になる場合が多い。

近(jin→kin キン)、起(qi→ki キ)、喜(xi→ki キ)

E hではじまる漢字音→g-、k-音になる場合が多い。

塞(han→kan カン)、韓(han→kan カキ)、含(han→gan ガン)

3 日本語の語彙の組み立て(語形成)



「手」「高い」「走る」「ゆっくり」のように語が1個でできている語を[単純語]といい、「話し手」「飛び回る」「我々」「ごはん」などのように1個の自立成分と他の成分との組み合わせによって成り立った語を[合成語]という。[合成語]は次の3類にわけられます。

- 複合語:複数の自立成分からなる語…心がける、雨降り、青白い、のろのろ運転
- 暈 語:人々、さまざま、いらいら、しみじみ、ますます、もしもし
- 派生語:大雨、ご無沙汰、画家、医師、男らしい、悲しげ、事実上

複合語の統語構造は、構文構造とも関係があり品詞性も問題になるので、複合語の各成分と語全体の品詞性について考えてみましょう。

A 統語構造の複合語

(1) 名詞をつくる

a 名詞+名詞→名詞

父親、ごみ箱、環境汚染、名場面、空模様、夕日、裏口、雪景色、テーブルマナー、ボーイフレンド、ガソリンスタンド、スクールバス

b 名詞＋動詞→名詞

雨ふり(雨がふる)、ひげそり(ひげをそる)、魚釣り(魚をつる)、日帰り(一日でかえる)、上着(上にきる)、風呂あがり(風呂からあがる)、友だちづきあい(友だちとつきあう)、車よい(車でよう)、南向き(右へむく)

c 動詞＋名詞→名詞

食べもの、くだり坂、割り算、受け付け表、出来事、読み方、やりよう

d 動詞＋動詞→名詞

組み合わせ、追い越し、踏み切り、売れ行き、出会い、食べかけ、引き出し

e 形容詞＋動詞→名詞

厚着、きれい好き、くやし泣き、長生き、大安売り、早寝早起き

f 形容詞＋名詞→名詞

おおおとこ おがわ はやくち
大男、小川、早口、近ごろ、広場、高層

g 副詞＋形容詞→名詞

わりやす(割安)、ごくほそ(極細)、ごくふと(極粗)

h 副詞＋動詞→名詞

また聞き、よちよち歩き

i 副詞＋名詞→名詞

ただ今、またいところ、にこにこ顔

(2) 動詞をつくる

a 名詞＋動詞→動詞

目立つ、めざす、心がける、心得る、気づく、横切る、研究する、決心する、コピーする、プリントする、メールする

b 動詞＋動詞→動詞

受け取る、打ち合わせる、追いかける、追い越す、組み立てる、飛び込む、通りかかる、やってみる、送ってもらう、話してあげる

c 形容詞＋動詞→動詞

近寄る、近づく、遠ざける、長引く

d 副詞＋動詞→動詞

まごまごする、にこにこする、うろうろする、きらきらする、いらいらする

(3) 形容詞をつくる

a 名詞＋形容詞→形容詞

情け深い、幅広い、身近な、色白な

b 動詞＋形容詞→形容詞

歩きにくい、見やすい、言いづらい、想像しがたい、有難い、蒸し暑い

c 形容詞＋形容詞→形容詞

面倒くさい、青白い

d 名詞＋動詞→形容詞

欲張りな

(4) 副詞をつくる

a 動詞＋助動詞→副詞

絶えず、思わず、なるべく

b 名詞＋助詞→副詞

時に、中でも、心から、いつか、なにか、一段と

c 擬態語・擬声語→副詞

ふらふら(と)、ぶらぶら(と)、すっきり(と)、ぎっしり(と)

B 並列構造の複合語

(1) 類義成分を並列

名詞:雨風、月日、頭脳、戦争、下降、道路、基本、衣服

動詞:飛び跳ねる、受け付ける、回転する、請求する、延長する、教育する

形容詞:細長い、暑苦しい、清潔な、温暖な、公正な

(2) 対義的な成分を並列

名詞:ちちはは、みぎひだり、うえした、まえうしろ、左右、上下、前後

動詞:出はいり、上り下り、読み書き、乗り降り、加減する、増減する、開閉する

形容詞:しろくろ、よしあし、大小、多少、紅白、高低、強弱

C 畳語

(1) 畳 語

名詞:人々、いろいろ、さまざま、時々、いちいち、それぞれ、もともと

動詞:泣き泣き、生き生き、ますます、しみじみ、もしもし(「申す」から)

形容詞:近々、^{ちかちか}、^{ひろびろ}、^{あかあか}、明々・赤々

副詞:まだまだ、いつもいつも、まずまず、どうもどうも、どうぞどうぞ

感動詞:あらあら、いやいや、おいおい、おやおや、さあさあ

(2) 準畳語

遅かれ早かれ、二度と再び、

D 派生語

(1) 接頭辞

a 形容詞性接頭辞

おお→大怪我、大声、大毎日、大騒ぎ、大風、大通り

だい→大人気、大混乱、大成功、大丈夫

たい→大木、大役、大使、大陸

こ→小雨、小山、小包、小遣い、小鳥、小指

お→小川、小野

しょう→小都市、小休止、小社

しん→新幹線、新発売

はつ→初日の出、初売り

ま→真夜中、真昼、まっしろ、まっくろ、まっくら、まっさお、まんなか

かた→片道、片親、片手、片腕、片時

ちょう→超高層ビル、超人気、超特急、超能力、超人

b 待遇性接頭辞

お→お祝い、お返事、お宅、おでかけ、おビール

おん→御社、御礼

ご→ご機嫌、ご気分、ご馳走、ご本人

c 否定性接頭辞

不→不運、不規則、不自由、不正、不潔、不通、不幸、不平、不便、不満

非→非公式、非情、非常識、非合理

無→無限、無視、無地、無数、無料

無→無事、無用心、無礼、ご無沙汰

d 漢語性接頭辞

反→反抗、反映、反社会的

被→被害、被爆者、被告、被選挙権

e 動詞・名詞につく接頭辞

うち→うちあわせる、うちけす

もの→ものすごい、ものがたる、ものおき、ものごと、ものさし

(2) 接尾辞

a 名詞性接尾辞

i 待遇表示: 一様、一さん、一ちゃん、一君、一殿、一氏、一先生

ii 複数表示: 一がた、一たち、一ら

iii 助数詞: 一つ、一り、一個、一枚、一本、一匹、一頭、一羽、一台、一冊、一人、一件、一軒

iv 人物表示: 一人、一人、一者、一師、一家、一家一屋、一坊、一士、一手、一手、一夫、一婦、一員

v 金額表示: 一料、一費、一代、一賃

vi 建物表示: 一屋、一館、

vii 抽象性表示:

一さ 高さ、広さ、はげしさ、美しさ、楽しさ

一み 高み、深み、強み、痛み、真剣み、ありがたみ

- －け 水け、寒け、食いけ、吐きけ、眠け
- －性 体系性、酸性、アルカリ性、中性、男性、女性、抽象性
- －化 近代化、合理化、機械化、強化、グローバル化
- －主義 社会主義、資本主義、民主主義
- －子 王子、障子、帽子、椅子、菓子
- －流 一流、上流、中流、下流、自己流
- －風 和風、洋風、中華風、昔風、商人風、サラリーマン風
- －味 人間味、甘味、酸味、辛味
- －用 家庭用、化粧用、社用、商用、社内用
- －視 重要視
- －式 旧式、新式、西洋式、結婚式、入学式

b 動詞性接尾辞

- －がる うれしがる、こわがる、たべたがる、かなしがる
- －ぶる 芸術家ぶる、大人ぶる
- －まる 高まる、広まる、深まる 固まる
- －める 高める、広める、深める、固める
- －かねる かねる、まちかねる、見かねる
- －かねない やりかねない、来かねない
- －る サボる、ダブる

c 形容詞性接尾辞

- －い 黄色い、四角い
- －しい 大人しい、長々しい、なつかしい
- －っぽい 埃っぽい、子どもっぽい、大人っぽい、女っぽい、骨っぽい
- －らしい 男らしい、女らしい、わざとらしい、しかめつらしい
- －づらい 話しづらい、歩きづらい、食べづらい、読みづらい
- －にくい 言にくい、こわれにくい、のみにくい
- －やすい 燃えやすい、着やすい、変わりやすい
- －がたい 信じがたい、想像しがたい、得がたい
- －な 結構な、さわやかな、あいまいな、モダンな、ユニークな
- －的な 規則的な、近代的な、科学的な、ヨーロッパ的な

d 副詞性接尾辞

- －と のんびりと、ぴったりと、もしかすると、しいんと、着々と
- －に 一斉に、今に、大いに、お先に、しきりに、急に
- －然 当然、突然、全然
- －上 事実上、経験上、手続き上

中国語と日本語は漢字を共有しているので、とくに字音語(漢語)は注意が必要です。例えば、中国語の【野菜】は野生の菜のこと、日本語では「山菜」。中国語の【勉強】は日本語では副詞「無理に」の意味になります。

また、本来の日本語(和語)では、1語として意識されるが、中国語としては、別の語として意識される語が数多くあります。例えば、和語【とる】は、「ある対象に働きかけて、自分の領域にそのものをうつす」というのが基本的意味(意義素)です。「帽子をとる」「意味をとる」「ノートをとる」「宿をとる」「写真をとる」「魚をとる」「事務をとる」「学生をとる」など。しかし、中国語ではそれぞれ別の動詞で表わし、「脱帽子」「理解意思」「做笔记」「订房间」「拍照片」「捕鱼」「办公」「招生」となります。ですから、純粋の日本語である和語にどんな漢字をあてるか、ということにあまりこだわることはありません。漢字を使うことによって、かえって誤解をうむことさえあります。

言葉の意味を考える時は、次のようなことに注意してください。

1. 意志性 ドアがあく→人の意志とは関係なく、自然にその動作が実現する(自動詞)
ドアをあける→人の意志で、その動作を実現させる(他動詞)
2. 時間性 今から出発するところだ。→その動作が発生する直前の状態
すでに桜は散ってしまっている。→その動作が実現した後の結果の状態
父は今、酒を飲んでいる。その動作の進行態。
3. 移動性 壁時計をさげる。→高いところのものを途中の低いところまで移動する
荷物をおろす。→高いところのものを基底面まで移動する
プールで泳ぐ。→移動を意識させない
プールで100m を泳ぐ。→移動を意識している
4. 動作性 会社で説明会がある。→説明会は動作名詞(動態)
会社に社員食堂がある。→食堂は場所名詞(静態)
学校の玄関にバスがとまっている。→バスは動いていない
運転手さん、バスをここでとめてください。→バスは動いている
5. 主観性 お年寄りは大切にするものだ。→社会通念・道徳上からの忠告
お年寄りは大切にすることだ。→話し手の個人的な忠告
1+2は必ず3になる。→客観的な必然性
お母様がお亡くなりになり、さぞ悲しいことでしょう。→話し手の気持ち
6. 積極性 こんな小さい子がよくもこんな遠いところまで歩いて来たもんだ。→プラス評価。
2時間も遅刻したのに、よくもぬけぬけと来られたもんだ。→マイナス評価。
長い間待っていた上海万博がいよいよはじまる。→プラス評価。
長い間待っていたが、彼はついに現れなかった。→マイナス評価。

動詞・名詞・外来語

1 字音語と拼音字母との対照

問題 次の字音語の読み方をひらがなで書きなさい。

- (1) 拼音字母の語尾が[-ng]の漢字音は、長音で語尾が[ーい / ーう]になる。
- (2) 拼音字母の語尾が[-n]の漢字音は、撥音で語尾が[ーん]になる。
 1. 暗記() 2. 応援() 3. 延長() 4. 横断() 5. 歓迎()
 6. 完成() 7. 看病() 8. 感動() 9. 信用() 10. 断定()
- (3) [学ガク][適テキ]など[ーク][ーキ]の漢字が[カ行音]に続く場合や[鉄テツ][日ニチ]など[ーツ][ーチ]の漢字が[カサタハ行音]に続く場合は、促音化がおこる。
 1. 学級() 2. 活気() 3. 括弧() 4. 欠点() 5. 決定()
 6. 月給() 7. 結果() 8. 傑作() 9. 徹底() 10. 鉄砲()
- (4) 拼音字母の[j- , q- , x-]の音は、[K 音]または[G 音]になる場合が多い。
 1. 記事() 2. 技師() 3. 奇数() 4. 機能() 5. 期待()
 6. 希望() 7. 金額() 8. 競技() 9. 協会() 10. 休憩()
- (5) 拼音字母の[h-]の音は、[カ行音]または[ガ行音]になる場合が多い。
 1. 環境() 2. 回復() 3. 海洋() 4. 会計() 5. 火災()
 6. 活動() 7. 混乱() 8. 結婚() 9. 豪華() 10. 紅葉()
- (6) [di, ti][jīng, qīng][dōng, tóng]のように拼音字母(有気音か無気音かは不問)が同じであれば、同じ音(清音か濁音かは不問)になる場合が多い。
 1. 提案() 2. 低下() 3. 抵抗() 4. 帝国() 5. 青春()